

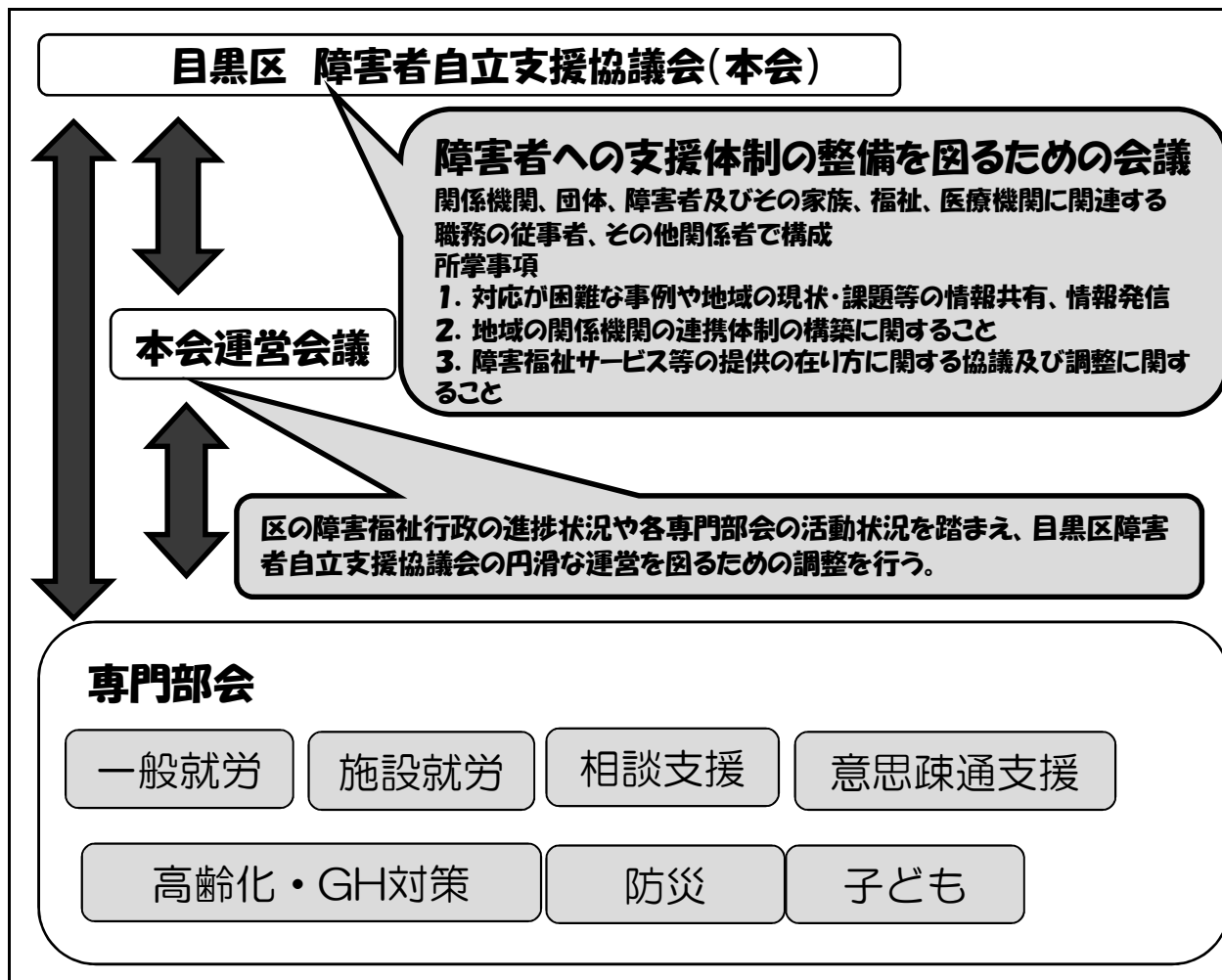
目黒区

【名称】 目黒区障害者自立支援協議会

【設置年月】 平成21年2月

【運営方法】 直営

【組織図】



【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援センター	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行	地域定着		
設置予定	5	2	2	13	5

【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
整備済	平成30年3月	多機能拠点整備型+面的整備型

【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
なし	—

【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数

全体会	
回数	委員数
3	23 (1)

専門部会の活動回数及び委員数

部会名	回数	委員数
一般就労部会	6	14 (1)
施設就労部会	3	19 (1)
相談支援部会	12	20 (0)
意思疎通支援部会	6	13 (4)
高齢化・グループホーム対策部会	9	19 (1)
防災部会	0	11 (3)
子ども部会	12	23 (0)

※「委員数」の():当事者の立場で委員に就任されている方の人数(再掲)

【全体会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者	2	医療関係者	2	保健所	0
教育関係機関	1	雇用関係機関	2	企業	0
障害当事者・家族・関係団体	2	身体・知的障害者相談員	0	相談支援事業者	3
障害福祉サービス等事業者	5	社会福祉協議会	1	法曹関係者	0
民生・児童委員	1	地域住民	0	行政職員(区市町村)	4
行政職員(都)	0	その他	0		
合計	23				

委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1	会長	岩崎 香	早稲田大学人間科学学術院	学識経験者	
2	副会長	北本 佳子	昭和女子大学人間社会学部	学識経験者	
3	委員	松尾 由理江	相談支援事業所(たまごの会)	相談支援事業者	
4	委員	橋本 純子	相談支援事業所(みきの会)	相談支援事業者	
5	委員	町田 幸子	相談支援事業所(目黒障害者相談センター)	相談支援事業者	
6	委員	阿部 亮	障害福祉サービス事業所(愛隣会)	障害福祉サービス等事業者	
7	委員	武井 美雄	障害福祉サービス事業所(あいアイ館)	障害福祉サービス等事業者	
8	委員	徳永 泰行	障害福祉サービス事業所((株)ナイスケア)	障害福祉サービス等事業者	
9	委員	松原 辰昭	障害福祉サービス事業所(ハートフル翔)	障害福祉サービス等事業者	
10	委員	野村 和成	障害福祉サービス事業所(もえぎの会)	障害福祉サービス等事業者	
11	委員	山田 脩	目黒区障害者団体懇話会推薦	障害福祉サービス等事業者	
12	委員	山下 智恵子	障害当事者(目黒区聴覚障害者協会)	障害当事者・家族・関係団体	
13	委員	中島 浩志	渋谷公共職業安定所相談援助第二部門統括職業指導官	雇用関係機関	
14	委員	白鳥 千恵子	目黒障害者就労支援センター	雇用関係機関	
15	委員	田村 康二郎	東京都立光明学園	教育関係機関	
16	委員	田島 巖吾	目黒区医師会推薦	医療関係者	
17	委員	重盛 憲司	洗足メンタルクリニック	医療関係者	
18	委員	五十嵐 フミ	目黒区民生児童委員協議会推薦南部第1地区会長	民生・児童委員	
19	委員	田岡 尚子	権利擁護センター「めぐろ」(目黒区社会福祉協議会)	社会福祉協議会	
20	委員	橘 静子	碑文谷保健センター長	行政職員(区市町村)	
21	委員	保坂 春樹	障害福祉課長	行政職員(区市町村)	
22	委員	篠崎 省三	子育て支援課長	行政職員(区市町村)	
23	委員	酒井 宏	教育支援課長	行政職員(区市町村)	

(2)活動内容

「障害者計画」の改訂のための議論を中心に行う。専門部会から提出された報告・協議事項に基づいて重点課題を議論する。地域社会の啓発と協議会の周知のために行うイベントについて議論する。

【専門部会の委員構成及び活動内容】

(1)委員構成

部会 種別	一般就労部会	施設就労部会	相談支援部会	意思疎通支援部会	高齢化・グループホーム対策部会
学識経験者	0	0	0	0	0
医療関係者	0	0	0	0	0
保健所	0	0	0	0	0
教育関係機関	0	0	0	0	0
雇用関係機関	6	0	0	0	0
企業	0	0	0	0	0
障害当事者・家族・関係団体	0	1	0	4	1
身体・知的障害者相談員	0	0	0	3	0
相談支援事業者	6	0	19	0	2
障害福祉サービス等事業者	0	18	0	5	14
社会福祉協議会	0	0	0	0	0
法曹関係者	0	0	0	0	0
民生・児童委員	0	0	0	0	0
地域住民	0	0	0	0	0
行政職員(区市町村)	1	0	0	1	2
行政職員(都)	0	0	0	0	0
その他	1	0	1	0	0
計	14	19	20	13	19

部会 種別	防災部会	子ども部会
学識経験者	0	0
医療関係者	0	0
保健所	0	0
教育関係機関	0	2
雇用関係機関	0	0
企業	0	0
障害当事者・家族・関係団体	3	0
身体・知的障害者相談員	0	0
相談支援事業者	0	13
障害福祉サービス等事業者	8	1
社会福祉協議会	0	0
法曹関係者	0	0
民生・児童委員	0	0
地域住民	0	0
行政職員(区市町村)	0	7
行政職員(都)	0	0
その他	0	0
計	11	23

(2) 活動内容

部会名称	活動内容
一般就労部会	利用者相談についてのロールプレイ。目黒区障害者就労促進連絡会+施設就労部会+一般就労のメンバーで「目黒区内における体験就労&短期就労の実現につき話し合い。
施設就労部会	目黒区障害者就労促進連絡会+施設就労部会+一般就労のメンバーで「目黒区内における体験就労&短期就労の実現につき話し合い。 目黒区障害者就労促進連絡会議に参加
相談支援部会	地域生活支援拠点見学 学習会「報酬改定による計画相談について」「訪問看護制度を知る」 他機関との懇談（障害福祉課CW・居宅介護事業所）
意思疎通支援部会	各部会員（聴覚障害、視覚障害、身体障害、失語症、高次脳機能障害障害等の各障害当事者及び家族会メンバー）が日常生活で困っている点、障害者差別解消法後の状況について意見交換。
高齢化・グループホーム対策部会	介護保険とのかかわりのある事例が増加したため、ケアマネと一緒に事例検討
防災部会	学習会「これだけは用意したい非常時の備え」
子ども部会	見学会・事例検討会・人形劇 医療的ケアのアンケート集計結果の確認

【地域協議会の活動状況】

1 協議会の協議事項

① 相談支援事業の運営体制に関すること

相談支援ガイドブック作成。地域生活拠点の見学。

② 就労支援に関すること

一般就労部会で事例研究実践。解決がほぼ困難な内容が多い。

⑤ 困難事例等の解決に向けた検討に関すること

基幹相談支援センターで困難事例について相談支援事業所をサポートしていく。

⑧ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること

条例改正について確認。区も窓口になる。

2 協議会としての役割

① 情報の顕在化

各部会で検討

② 情報共有・情報発信

各専門部会であがったものを本会で共有する。

③ 分野を越えてのネットワークの構築

本会で共有

④ 各分野の社会資源の共有化及び整合性の確認

本会で確認

⑤ 地域課題の整理

専門部会で挙げられたものを本会で整理

⑥ 課題解決に向けての検討

専門部会で挙げられたものを本会で整理

⑧ 社会資源の開発及び改善

相談ガイドブックを作る。社会資源についての学習会を行う。

3-1 協議会における地域課題

あがっている

3-2 地域課題の把握方法

① アンケート、ヒアリング等

② 全体会、専門部会、各種連絡会等

3-3 地域課題に対して取り組んだ、又は取り組んでいる内容

① 相談支援の質及び量

相談支援支援ハンドブックの作成。
事例研究。

② 社会資源の開発及び改善

人材不足に就労実績の向上や、支援員へのサポートを行うために、各施設での課題解決に向けた事例研究を実践。

④ 高齢福祉分野との連携

介護保険とのかかわりがある事例が増加したので、ケアマネと一緒に事例検討を重ねる。

⑥ 緊急・災害対応

防災部会で学習会を開く(30年度:災害時における要配慮者対策について)

⑦ 医療的ケア

医療的コーディネーターについて目黒区としての方向性を決める。

⑧ 障害児支援

医療的ケア児施設の見学、事例検討。

4 平成30年度地域自立支援協議会交流会のグループ討議

【発表内容】

①私たちは〇〇区市町村に戻ったら、 まず〇〇をします。	②なぜなら、(①に決めた理由) だからです。
当事者にもっと積極的に協議会に参加してもらえ るよう、区の計画への掲載や課題解消のための予 算、差別解消、バリアフリー等と関連させた自立 支援協議会を考える。	今年はまだ新人なので、来年は2年目の職員とし て目黒区の協議会について説明できるようにした いため。

【その後の実施状況】

4-1 その後の実施状況

実施中

4-2 具体的な取組状況

本会の委員改選に合わせ、当事者、家族の参加を考える。